

## バス事業者と鉄道事業者による徳島県南部における共同経営計画の認可申請について

2022年3月3日  
徳島バス株式会社  
四国旅客鉄道株式会社

徳島バス株式会社（本社：徳島県徳島市、代表取締役社長：金原克也 以下「徳島バス」）と四国旅客鉄道株式会社（本社：香川県高松市、代表取締役社長：西牧世博 以下「JR四国」）は、徳島県南部地域の地域旅客運送サービスの利便性向上を図ること、また、四国に最適で持続可能な「公共交通ネットワークの四国モデル」を構築することを目的に、徳島県などの地域の関係者の協力及び四国運輸局の助言のもと、「地域における一般乗合旅客自動車運送事業及び銀行業に係る基盤的なサービスの提供の維持を図るための私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律の特例に関する法律」第9条第1項の規定に基づき、2022年4月1日から実施を予定している共同経営の計画について、本日付けで国土交通大臣へ認可申請を行いましたのでお知らせいたします。

### 1 申請日

2022年3月3日（木）

### 2 実施日

2022年4月1日（金）予定

### 3 共同経営の概要

#### (1) これまでの取組み

徳島バスは、徳島県及びJR四国と連携し、JR牟岐線阿南駅以南の列車運行本数の減少に合わせ、高速バス「室戸・生見・阿南大阪線」の阿南～甲浦間のバス停留所（JR牟岐線と並行する一般道を運行する区間）において、2019年3月より途中乗降を可能とし、路線バスとして運行しています（以下「高速バス途中乗降」）。

#### (2) 今回の取組み内容

徳島バスとJR四国は共同し、高速バス途中乗降と鉄道の運賃面での連携を図り、JRきっぷや定期券といったJR乗車券類で高速バス途中乗降の利用を可能とする取組みを実施します。また、阿南駅等で鉄道とバスを乗り継ぐ場合には、JR乗車券類による通し運賃を適用することで、乗換時の初乗り運賃を不要とします。これにより、鉄道とバスの双方を同じ地域旅客運送サービスとして、より便利にご利用いただくことが可能になります（並行モード連携モデル）。

#### (3) 実施事業者

徳島バス、JR四国

#### (4) 対象路線及び対象停留所・駅

① 徳島バス室戸・生見・阿南大阪線「阿南駅～浅川」

② JR牟岐線「阿南駅～浅川駅」

<対象停留所・駅>

停留所	阿南駅	橘営業所	由岐	日和佐	牟岐	浅川
	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄
駅	阿南	阿波橘	由岐	日和佐	牟岐	浅川

※ JR乗車券類の有効区間は上記駅に対応する停留所になります。

# 【別紙】徳島県南部における共同経営計画の概要について

- 2019年3月より徳島バスは徳島県及びJR四国と連携し、JR牟岐線阿南以南の列車運行本数の減少に合わせ、徳島県南部の地域旅客運送サービスの確保・維持・活性化を目的として、高速バス「室戸・生見・阿南大阪線」の阿南～甲浦間のバス停留所（JR牟岐線と並行する一般道を運行する区間）において、途中乗降を可能とし路線バスとして運行している（以下「高速バス途中乗降」）。
- 本計画では、徳島バスとJR四国が共同し、高速バス途中乗降と鉄道の運賃面での連携を図り、JRきっぷや定期券といったJR乗車券類にて高速バス途中乗降の利用を可能とする取組みを実施する。また、阿南駅等で鉄道とバスを乗り継ぐ場合にはJR乗車券類による通し運賃を適用することで、乗換時の初乗り運賃を不要とする。  
これにより、鉄道とバスの双方を同じ地域旅客運送サービスとして、より便利にご利用いただくことが可能となる（並行モード連携モデル）。

## 【目的】

- ・徳島県南部地域の地域旅客運送サービスの利便性向上を図る。
- ・四国に最適で持続可能な「公共交通ネットワークの四国モデル」を構築する。

## 【実施事業者】

徳島バス、JR四国

## 【対象路線】

- ・徳島バス室戸・生見・阿南大阪線「阿南駅～浅川」
- ・JR牟岐線「阿南駅～浅川駅」

## 【実施日】

2022年4月1日（金）予定

## 【共同経営計画の内容】

- ・JR乗車券類にて高速バス途中乗降の利用を可能とする。
- ・鉄道とバスを乗り継ぐ場合、JR乗車券類による通し運賃を適用する。  
（JR乗車券類の有効区間は対象となる駅に対応する停留所とする。）

⇒これにより鉄道とバスの双方を同じ地域旅客運送サービスとして利用できる。

## 【実施イメージ】

## 【対象停留所・駅】

停留所		駅
阿南駅	⇔	阿南
橘営業所	⇔	阿波橘
由岐	⇔	由岐
日和佐	⇔	日和佐
牟岐	⇔	牟岐
浅川	⇔	浅川



国土地理院ウェブサイト「地理院地図（電子国土Web）」を加工して作成

## 並行モード連携モデル

